

平成21年4月期 第1四半期決算短信

平成20年8月29日

上場会社名 株式会社ヤガミ
 コード番号 7488 URL <http://www.yagami-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八神 基
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 括石 研自
 四半期報告書提出予定日 平成20年9月1日

上場取引所 名

TEL 052-951-9252

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年4月期第1四半期の連結業績(平成20年4月21日～平成20年7月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年4月期第1四半期 | 1,631 | | 106 | | 120 | | 61 | |
| 20年4月期第1四半期 | 1,688 | 7.8 | 174 | 34.7 | 187 | 39.2 | 115 | 68.0 |

| | 1株当たり四半期純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | |
|-------------|-------------|----|--------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 21年4月期第1四半期 | 9 | 16 | | |
| 20年4月期第1四半期 | 17 | 05 | | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|-------|--|-------|--|--------|--|----------|----|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円 | 銭 |
| 21年4月期第1四半期 | 9,469 | | 6,420 | | 65.5 | | 920 | 16 |
| 20年4月期 | 9,889 | | 6,387 | | 62.4 | | 915 | 47 |

(参考) 自己資本 21年4月期第1四半期 6,201百万円 20年4月期 6,170百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| 20年4月期 | 5.00 | | | 5.00 | 10.00 |
| 21年4月期 | | | | | |
| 21年4月期(予想) | | 6.00 | | 6.00 | 12.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年4月期の連結業績予想(平成20年4月21日～平成21年4月20日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|-----|------|-----|-------|-----|------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 第2四半期連結累計期間 | 3,840 | | 412 | | 437 | | 252 | | | 37.39 |
| 通期 | 8,000 | 2.8 | 800 | 2.9 | 850 | 4.1 | 480 | 6.3 | | 71.22 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | |
|--------------------|------------------------|------------------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年4月期第1四半期 6,801,760株 | 20年4月期 6,801,760株 |
| 期末自己株式数 | 21年4月期第1四半期 61,740株 | 20年4月期 61,740株 |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年4月期第1四半期 6,740,020株 | 20年4月期第1四半期 6,795,315株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」(平成19年内閣府令第64号)に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、当第1四半期連結累計期間(平成20年4月21日から平成20年7月20日まで)は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を早期に適用しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期は、前期に需要が急増した救急救命分野と文教外市場における特定用途什器や環境試験機器の売上が一段落したことから、売上高は16億31百万円（前年同期比3.4%減）と減収になりました。利益面におきましては、棚卸資産の評価に関する会計基準の適用による棚卸評価損と人件費の増加により、営業利益1億6百万円（同39.0%減）、経常利益1億20百万円（同35.8%減）、当四半期純利益は61百万円（同46.7%減）と減益になりました。

事業の種類別の状況につきましては次のとおりであります。

理科学機器設備部門

当事業部門では、地方自治体の財政悪化による学校校舎の耐震改修工事に伴う設備機器の減少に加え、前期と同じ規模の特定用途什器の物件に恵まれず、それに対する十分なカバーが出来なかったことと、棚卸評価損により、当部門の売上高は6億95百万円（同2.4%減）となり、営業損失1百万円（前年同期は44百万円の営業利益）と大幅な減益になりました。

保健医科機器部門

当事業部門では、救急救命分野において、一般市民が行なう一次救命処置が重視され、引き続きAED（自動体外式除細動器）の普及という追い風を受け好調に推移したものの、競争が激化したことにより、大口物件を中心に販売価格の低下が起り、当部門の売上高は6億19百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は1億72百万円（同9.0%減）となりました。

産業用機器部門

当事業部門では、半導体業界を中心とした設備投資に対し、製造設備の配管部に使用される保温・加熱用電気ヒーター及び半導体の寿命を測定する環境試験機器の受注獲得に注力いたしましたが、半導体製造業界をはじめとする設備投資にややかげりが見えた影響で、売上高は3億15百万円（同5.7%減）、営業利益は47百万円（同2.9%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は94億69百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億20百万円減少しました。これは主に、有価証券が2億88百万円、投資有価証券が1億5百万円増加する一方、現金及び預金が4億74百万円、受取手形及び売掛金が3億56百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。負債は30億49百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億53百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億52百万円、未払法人税等が1億63百万円、賞与引当金が1億1百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。純資産は64億20百万円となり、自己資本比率は65.5%となりました。

また当第1四半期末における現金及び現金同等物は6億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億74百万円減少いたしました。これは主に、法人税等の支払額1億74百万円、有価証券の取得による支出2億88百万円、投資有価証券の取得による支出1億円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年4月期の業績予想につきましては、当初業績予想を達成するべく当社グループ一丸となって取り組んでおり、平成20年6月2日に発表した業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を実施せず、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、当連結会計年度に係る年間の減価償却費の額を期間按分する方法により算出しております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」(平成19年内閣府令第64号)に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、当第1四半期連結累計期間(平成20年4月21日から平成20年7月20日まで)は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(内閣府令第50号 平成20年8月7日)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を早期に適用しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、主として、総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益の低下に基づく簿価切下げ法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ40百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、該当箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年7月20日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月20日) |
|-------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,173,536 | 2,648,211 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,818,003 | 2,174,340 |
| 有価証券 | 288,589 | — |
| 商品及び製品 | 764,157 | 785,748 |
| 仕掛品 | 140,872 | 73,128 |
| 原材料及び貯蔵品 | 255,009 | 235,492 |
| 繰延税金資産 | 55,643 | 93,847 |
| その他 | 71,053 | 32,680 |
| 貸倒引当金 | △5,305 | △6,107 |
| 流動資産合計 | 5,561,560 | 6,037,341 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,062,306 | 1,078,842 |
| 土地 | 1,850,780 | 1,850,780 |
| その他(純額) | 107,275 | 111,541 |
| 有形固定資産合計 | 3,020,362 | 3,041,165 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 9,347 | 9,124 |
| その他 | 4,555 | 4,555 |
| 無形固定資産合計 | 13,902 | 13,679 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 381,934 | 276,344 |
| 繰延税金資産 | 304,978 | 335,273 |
| その他 | 190,571 | 189,134 |
| 貸倒引当金 | △3,951 | △2,953 |
| 投資その他の資産合計 | 873,532 | 797,799 |
| 固定資産合計 | 3,907,797 | 3,852,643 |
| 資産合計 | 9,469,357 | 9,889,985 |

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年7月20日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月20日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,590,037 | 1,743,002 |
| 短期借入金 | 95,175 | 104,329 |
| 1年内償還予定の社債 | 20,000 | 20,000 |
| 未払金 | 85,038 | 97,374 |
| 未払法人税等 | 11,919 | 175,391 |
| 賞与引当金 | 57,182 | 158,317 |
| その他 | 184,074 | 153,082 |
| 流動負債合計 | 2,043,427 | 2,451,496 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 80,000 | 90,000 |
| 繰延税金負債 | 150,310 | 173,356 |
| 退職給付引当金 | 250,048 | 250,699 |
| 役員退職慰労引当金 | 292,025 | 303,401 |
| その他 | 233,329 | 233,392 |
| 固定負債合計 | 1,005,713 | 1,050,849 |
| 負債合計 | 3,049,141 | 3,502,346 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 787,299 | 787,299 |
| 資本剰余金 | 676,811 | 676,811 |
| 利益剰余金 | 4,736,357 | 4,708,301 |
| 自己株式 | △40,082 | △40,082 |
| 株主資本合計 | 6,160,385 | 6,132,329 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 41,496 | 37,935 |
| 評価・換算差額等合計 | 41,496 | 37,935 |
| 少数株主持分 | 218,334 | 217,374 |
| 純資産合計 | 6,420,216 | 6,387,639 |
| 負債純資産合計 | 9,469,357 | 9,889,985 |

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年4月21日
至平成20年7月20日)

| | |
|--------------|-----------|
| 売上高 | 1,631,156 |
| 売上原価 | 1,001,663 |
| 売上総利益 | 629,493 |
| 販売費及び一般管理費 | 523,102 |
| 営業利益 | 106,390 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 1,643 |
| 有価証券利息 | 363 |
| 受取配当金 | 2,068 |
| 不動産賃貸料 | 11,515 |
| その他 | 7,205 |
| 営業外収益合計 | 22,797 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 1,390 |
| 社債利息 | 175 |
| 不動産賃貸費用 | 5,612 |
| その他 | 1,690 |
| 営業外費用合計 | 8,869 |
| 経常利益 | 120,317 |
| 特別利益 | |
| 投資有価証券売却益 | 335 |
| 貸倒引当金戻入額 | 802 |
| 特別利益合計 | 1,138 |
| 特別損失 | |
| 貸倒引当金繰入額 | 1,000 |
| 特別損失合計 | 1,000 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 120,456 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 13,309 |
| 法人税等調整額 | 43,030 |
| 法人税等合計 | 56,340 |
| 少数株主利益 | 2,360 |
| 四半期純利益 | 61,756 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月21日
至 平成20年7月20日)

| | |
|---------------------|------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 120,456 |
| 減価償却費 | 28,225 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △651 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △11,375 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △101,134 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 225 |
| 受取利息及び受取配当金 | △4,075 |
| 支払利息 | 1,566 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △335 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 356,629 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △65,668 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △151,644 |
| その他 | △30,119 |
| 小計 | 142,097 |
| 利息及び配当金の受取額 | 6,011 |
| 利息の支払額 | △824 |
| 法人税等の支払額 | △174,183 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △26,899 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,008,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 1,008,000 |
| 有価証券の取得による支出 | △288,589 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △100,000 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 730 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,660 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,300 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 500 |
| 保険積立金の積立による支出 | △2,400 |
| その他 | 76 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △392,643 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の返済による支出 | △9,999 |
| 社債の償還による支出 | △10,000 |
| 配当金の支払額 | △33,731 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △1,400 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △55,130 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △474,674 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,097,211 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 622,536 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」(平成19年内閣府令第64号)に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、当第1四半期連結累計期間(平成20年4月21日から平成20年7月20日まで)は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(内閣府令第50号 平成20年8月7日)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を早期に適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月21日 至平成20年7月20日)

| | 理科学 機器設備 (千円) | 保健医科 機器 (千円) | 産業用機器 (千円) | 計 (千円) | 消去 又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|---------------------------|---------------------|--------------------|---------------|-----------|--------------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 695,678 | 619,848 | 315,629 | 1,631,156 | — | 1,631,156 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 695,678 | 619,848 | 315,629 | 1,631,156 | — | 1,631,156 |
| 営業利益(又は営業損失) | △1,522 | 172,426 | 47,971 | 218,875 | (112,485) | 106,390 |

(注) 1 事業の種類別区分は、商品の主たる用途を考慮して区分しております。

2 各区分の主要な商品

| 種類別区分 | 主要品目 |
|---------|--|
| 理科学機器設備 | 収納壁、調理台、実験台、顕微鏡、電源装置、滅菌器 |
| 保健医科機器 | 蘇生法教育人体モデル、AED(自動体外式除細動器)、視力・聴力検査器、身長計、体重計 |
| 産業用機器 | 保温・加熱用電気ヒーター、環境試験機器 |

3 会計処理方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用しております。

この変更に伴ない、従来の方法によった場合と比べ、理科学機器設備が28,230千円、保健医科機器が5,367千円、産業用機器が7,201千円、それぞれ営業利益が減少しております。

なお、理科学機器設備については、この変更による影響により1,522千円の営業損失となりました。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月21日 至平成20年7月20日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月21日 至平成20年7月20日)

| | アジア | その他の地域 | 計 |
|--------------------------|---------|--------|-----------|
| I 海外売上高(千円) | 181,140 | 58,219 | 239,360 |
| II 連結売上高(千円) | | | 1,631,156 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 11.1 | 3.6 | 14.7 |

(注) 1 地域は地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

アジア…東アジア諸国、東南アジア諸国、西南アジア諸国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」前四半期にかかる財務諸表

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

| 科 目 | 前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月21日 至平成19年7月20日) |
|------------------|--|
| | 金額 |
| I 売上高 | 1,688,887 |
| II 売上原価 | 1,014,761 |
| 売上総利益 | 674,126 |
| III 販売費及び一般管理費 | 499,851 |
| 営業利益 | 174,275 |
| IV 営業外収益 | |
| 1. 受取利息配当金 | 1,707 |
| 2. 不動産賃貸料 | 11,221 |
| 3. その他 | 8,969 |
| 営業外収益合計 | 21,898 |
| V 営業外費用 | |
| 1. 支払利息 | 1,775 |
| 2. 社債利息 | 285 |
| 3. 不動産賃貸費用 | 5,765 |
| 4. その他 | 871 |
| 営業外費用合計 | 8,698 |
| 経常利益 | 187,475 |
| VI 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入益 | 2,445 |
| 特別利益合計 | 2,445 |
| 税金等調整前 四半期純利益 | 189,920 |
| 法人税、住民税及び 事業税 | 10,680 |
| 法人税等調整額 | 59,802 |
| 少数株主利益 | 3,544 |
| 四半期純利益 | 115,892 |

(2) (要約) 前四半期連結キャッシュフロー計算書

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月21日 至平成19年7月20日) |
|-----------------------------|--|
| 区分 | 金額 |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 189,920 |
| 減価償却費 | 30,573 |
| 退職給付引当金の増加額 | 1,424 |
| 役員退職慰労引当金の増加額 | 6,660 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △ 140,444 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △ 2,464 |
| 受取利息及び受取配当金 | △ 1,707 |
| 支払利息 | 2,071 |
| 売上債権の増加額 | 369,032 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △ 110,241 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △ 142,815 |
| その他 | △ 5,633 |
| 小計 | 196,375 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,691 |
| 利息の支払額 | △ 1,011 |
| 法人税等の支払額 | △ 181,685 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 15,369 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | △ 1,531,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 31,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 13,487 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △ 64 |
| 保険積立による支出 | △ 2,400 |
| 長期貸付金の貸付による支出 | △ 5,000 |
| その他 | 295 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,520,656 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の返済による支出 | △ 15,999 |
| 社債の償還による支出 | △ 10,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △ 37,050 |
| 配当金の支払額 | △ 55,405 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △ 14,000 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 132,454 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — |
| V 現金及び現金同等物の減少額 | △ 1,637,741 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,496,982 |
| VII 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 859,240 |

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月21日 至平成19年7月20日)

| | 理科学 機器設備 (千円) | 保健医科 機器 (千円) | 産業用機器 (千円) | 計 (千円) | 消去 又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|---------------------------|---------------------|--------------------|---------------|-----------|--------------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 712,393 | 641,946 | 334,547 | 1,688,887 | — | 1,688,887 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 712,393 | 641,946 | 334,547 | 1,688,887 | — | 1,688,887 |
| 営業利益 | 44,369 | 189,557 | 49,416 | 283,342 | (109,067) | 174,275 |

(注) 1 事業の種類別区分は、商品の主たる用途を考慮して区分しております。

2 各区分の主要な商品

| 種類別区分 | 主要品目 |
|---------|--|
| 理科学機器設備 | 収納壁、調理台、実験台、顕微鏡、電源装置、滅菌器 |
| 保健医科機器 | 蘇生法教育人体モデル、AED(自動体外式除細動器)、視力・聴力検査器、身長計、体重計 |
| 産業用機器 | 保温・加熱用電気ヒーター、環境試験機器 |

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月21日 至平成19年7月20日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間においては、開示しておりません。